

コード No. 18541

**Anti-Human
Tie-1 (N1125) Rabbit IgG Affinity Purify**

容量 : 100 µg

Tie : Tyrosin Kinase with Ig and EGF Homology Domain

はじめに : TIE は慢性骨髄性白血病由来細胞株である K562 からクローニングされた新しい受容体型チロシンキナーゼです。その分子量は 117kDa で、構造は細胞外 N 末端から免疫グロブリン様ドメイン、3 つの EGF 様ドメイン、もう 1 つの免疫グロブリン様ドメイン、さらに 3 つのフィブロネクチン III 様ドメインと続き、膜貫通ドメイン、2 つのチロシンキナーゼドメイン、そして C 末端ドメインから構成されています。またキナーゼドメインにおいて約 80 % と高いホモロジーを有する Tek 分子のクローニングも報告されており、これらは Tie ファミリーを構成すると考えられています。Tie-1 は内皮細胞に特異的に発現し、Tie-2 と共に Tie ファミリーに属します。Tie-1 の遺伝子のノックアウトマウスでは、ホモ接合体 (-/-) において、血管は形成されるものの易出血性のため、肺水腫で死亡します。このことから、Tie-1 を介したシグナルは血管構造を維持する上で重要であると報告されています。

免疫抗原 : Human Tie-1 の部分合成ペプチド

精製方法 : 抗原ペプチドによる特異精製

包装形態 : 1 % BSA、0.05 % NaN₃ 含有 PBS 1.0 mL に溶解したものを凍結乾燥

再生方法 : 精製水 1.0 mL 添加(この時濃度は 100 µg/mL となります)

保存方法及び : 2 ~ 8 °C 保存 5 年間安定

安定性 : 溶解後 -20 °C 保存 2 年間安定

使用目的及び : 免疫組織染色 5~10 µg/mL にて使用可能

使用方法 (ホルマリン固定・パラフィン包埋切片 : マイクロウェーブ処理)
ウェスタン・ブロッティング 2~10 µg/mL にて使用可能

特異性 : Tie/BaF3 Transfectant*, HEL(白血病細胞株)にて確認
*熊本大学・須田教授のご厚意により、ご提供いただきました。